

中央教育審議会第4回教育課程部会『戸田市の学力向上策等について』より 教育効果を挙げている学校の10か条!

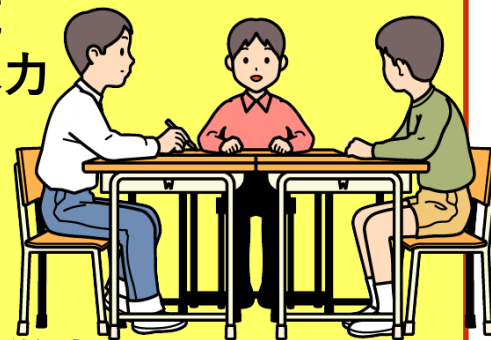
次に紹介させていただいています「教育効果を挙げている学校の10か条」は、令和元年10月29日（火）に中央教育審議会第4回教育課程部会で、埼玉県戸田市教育委員会の戸ヶ崎勤教育長さんが、「戸田市の学力向上策等について」説明をされた資料の中の一部です。

戸田市教育委員会は非常に先進的な取組を進めていることで知られており、特に戸ヶ崎教育長さんは、戸田市の教育改革を進めるに当たって強いリーダーシップを発揮されています。

11月に授業改革推進チームの「津山・真庭チーム」の先生方が戸田市に視察に行かれたりもしています。

教育効果を挙げている学校の10か条

- (1) 管理職が学力向上に向け危機意識をもち、強いリーダーシップを発揮
- (2) 学力分析を丁寧に行い、その結果に基づいた取組を継続して実施
- (3) 全教員が主体的・対話的で深い学びの視点で日々の授業改善に尽力
- (4) 学習規律が徹底され、認め合い支え合う関係を育成
- (5) 授業や様々な教育活動でUD化に基づくきめ細かな配慮を実践
- (6) 学校独自の特色ある取組や共通する指導を、全教職員でやり抜く
- (7) 教員集団が共に学び合う関係性を構築
- (8) 学力向上の直接（的）な手立てではない教育活動にも共通行動を徹底
- (9) 「考えて読んで書く活動や論理的な言葉のトレーニング」を徹底
- (10) 家庭学習の習慣化の育成



この10か条をご覧になられて、どのように思われたでしょうか。管内の学校で教育効果を挙げ、学校力を向上されている学校の特色として挙げられることばかりです。

では、これらのことはご自身の学校ではいかがでしょうか？来年度の学校経営の重点やAPの目標や取組を絞って行く上で、参考にさせていただけるかもしれません。

第15号②

この10か条をもとに、次のようなことに取り組んでみられたらどうでしょうか。【取組例】

- ① まず一つ一つの内容がどのような姿を表しているのか、具体的なイメージをもってみる。
- ② 具体的なイメージがもてたら、自身の学校がそのイメージに近いかどうか評価してみる。
- ③ 次に、そのイメージの学校に近づけていくために、自身の学校でできていることとできていないこと、取り組んでいることと取り組めていないことを考えてみる。
- ④ 教職員に具体的なイメージをもとに今の学校を評価するアンケートを取ってみる。
- ⑤ 教職員にも10項目について具体的な学校の姿や、そんな学校にしていくために自分ができることや学校として取り組んでいけることを考えてもらう。
- ⑥ ④や⑤の結果を教職員にフィードバックする。
- ⑦ この結果をもとに、校長として来年度重点を置いていきたいところを示す。
- ⑧ プロジェクトチームなどを組織し、具体的な目標や取組についての方向性を協議する。



戸ヶ崎教育長さんはこの部会の中で、教育改革を進めていくポイントとして、（1）生徒指導と学級経営の充実（教師力向上は学級経営力と授業力向上から）、（2）校長のリーダーシップと同僚性強化（学校全体での学び合いの風土づくり）、（3）授業改善（教師自身がパッシブラーナーからアクティブラナーへ）の3点を挙げられています。